

簡単キーp2rスタートガイド



(製品を使い始める前にお読みください)

平成25年8月
有限会社デジタル技研

このたびは「簡単キーp2r」をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
本製品をお使いになる前にご一読ください。

1. 同梱物の確認

以下の同梱物が含まれていることをご確認ください。

- ・簡単キー**p2r1** (サンワサプライ株式会社製テンキー (型番NT-19UH2BK) : 1台
- ・簡単キー**p2r2** (サンワサプライ株式会社製テンキー (型番NT-19UH2BK) : 1台
- ・PROGRAMMABLE TENKEY DRIVER (CD-ROM) : 2枚
- ・キートップ引き抜き治具 : 2個
- ・プログラマブルテンキー取り扱い説明書 : 2冊
- ・キートップラベル : 1葉
- ・スタートガイド (本紙)

2. 簡単キーp2r1、p2r2の接続

パソコンの付加テンキーとして、簡単キー**p2r1**、**p2r2**をUSB接続で、PC/AT互換機に接続して

ください (簡単キー**p2r1**、**p2r2** のUSBハブ端子も使用できます)。

3. 簡単キーp2r1のキー配置

簡単キー**p2r1**のキー配置は、あらかじめ、つぎのように設定されています
(Enterキーを右上にして置いた場合)。

P c	G bs	Z -	D +	Enter	
F q	K *	S 9 PgUp	T 6 →	N 3 PgDn	H . Del
L v	O /	A 8 ↑	I 5	U 2 ↓	E 00
J x	M Num	Y 7 Home	R 4 ←	W 1 End	B 0 Ins

赤文字が、 NT-19UH2BK の MOD I 状態（MOD ボタンで赤ランプがオンオフします）。
 黒文字が、 NT-19UH2BK の MOD0 状態（MOD ボタンで緑ランプがオンオフします）。
 Num ボタンで、 NumLock 状態が、切り替わります。

4. 簡単キーp2r2 のキー配置

簡単キーp2r2 のキー配置は、あらかじめ、つぎのように設定されています
 （Enter キーを左下にしておいた場合）。

! 0 Ins	~ 1 End	(4 ←) 7 Home	= Num	F7 Esc
; 00	: 2 ↓	[5] 8 ↑	@ /	F8 Tab
, . Del	. 3 PgDn	/ 6 →	- 9 PgUp	? *	F9 Win
Enter		SP +	半/全 -	BS BS	F10 De l

赤文字が、 NT-19UH2BK の MOD I 状態（MOD ボタンで赤ランプがオンオフします）。
 黒文字が、 NT-19UH2BK の MOD0 状態（MOD ボタンで緑ランプがオンオフします）。
 Num ボタンで、 NumLock 状態が、切り替わります。

5. 標準的な使用法

・日本語

キーボード **p2r1** を Mod I 状態（赤ランプ）とする。

IME で、ローマ字入力モードで入力する。

カタカナは、IME の後変換機能を使用する（簡単キー**p2r2** の F7 F8 キー）

・英字

キーボード **p2r1** を Mod I 状態（赤ランプ）とする。

C Q V X は、キーボード **p2r1** の Mod0（緑ランプ）で入力する。

大文字は、本体キーボードの Shift キーを押しながらキー入力をする。

あるいは、IME の後変換を使用する（簡単キー**p2r2** F7 F8 キー）

・数字/カーソル入力

簡単キー**p2r1**、**p2r2** での Mod0 のテンキー入力。NumLock オフでのカーソル入力。

- ・記号/制御

簡単キー**p2r1**、**p2r2** でよく使われる記号/制御を入力し、その他の場合は、本体キーボードを使用する。

- ・キートップラベル

必要に応じて同梱の標準的なキートップラベルを切り取って使用してください。

6. キー割付

テンキーNT-19UH2BKのカスタマイズ機能で、キー設定を変更できます。詳しくは、「プログラマブルテンキー取り扱い説明書」を参照してください。

7. 補足

7. 1 日本語のタッチタイピングに適したキー配置について

- ・ 簡単キー**p2r1** を横にして、**Enter** キーを上右端に置く。
- ・ タッチタイピングのホームポジションを **A I U E** キーとする（出現頻度最大）。
- ・ **O** を **A** の左に配して、人差し指で、**A** と **O** を担当する（出現頻度の高い母音）。日本語での母音の出現頻度 60%以上であるが、なかでも **A** と **O** の頻度が高い。
- ・ 出現頻度大の **KSTNH**（約 20%）と **MYRWB**（約 10%）を **OAIUE** の上下に配する。
- ・ 出現頻度小の **GZD**（約 5%）を **OAIUE** の 2 段上に配する。
- ・ 出現頻度極小の **PFLQ**（その他 5%以下）を最左端列に配する。
- ・ 日本語では、使用しない **CQVX** を **MOD0** に配置する。
- ・ 以上により、日本語でのタッチタイピングでの手指の動きを最小化する。

7. 2 ホームポジション

A キーに紙を張るなどして、突起等の細工を施すことを推奨します。

7. 3 カスタマイズでの変型

- ・ 付加キーボード 1～3
キーボードの台数
- ・ 英字配置の選択
- ・ 記号の選択
- ・ 複合機能の設定（**Ctrl** や、**Alt**）
- ・ 複数文字のキーへの割り当て（人名や、**Web** サイト指定）
- ・ 本体キーボードのミニキーボードと組み合わせる（簡単キー**p2r1** を付加テンキーとする）。

8. 「簡単キーp2r」の企画

「簡単キーp2r」の企画は有限会社デジタル技研が行っています。

連絡先は次の通りです。

〒503-0807 岐阜県大垣市今宿 5-21-A304

TEL : 0584-82-8633

E-Mail : info@d-tech.jp

以上